

車道問題 再び燃ゆ

●12月19日、群馬県議会で土木部長が、二車線自動車道を岩清水まで完成させると発言。環境庁の宇野計画課長の否定にもかわからず、翌20日知事の「絶対にやる」との強気な発言で、再び表面化した。

●さらに12月21日群馬県は「尾瀬車道は大きく迂回して作りたい」と発表し露骨な開発攻勢を開始した。

●宇野計画課長は「県を信頼している。いざれ当初の計画通り落ちつくであろう」と全く無責任、不誠実。自然環境を保護するという国民に対する責任意識がゼロ。大石前長官が勝手にやっけて困ったといわんばかりである。

●「県が国庫補助金を車道認可と決めているのは誤解」と新聞などを通じていい合っているのみで、県に直接、対しようとはしていない。監視しつづけよう。一方、福島県知事は、本県は

自然保護の立場から、自動車道の接続に応じない旨、述べ自然保護思想を再確認。

●緊急幹事会の闘争方針。会では20日、急を聞いて集まつた幹事たちが臨時に幹事会を開催し、次のことを確認し、即日行動を開始した。

(1)先に群馬・福島両県に提出した各入山口規制の要求(詳細はニュース11号に掲載予定)

(2)日本自然保護協会、国立公園協会、全国自然保護連合などと共に環境庁、各県に質問書を出し、車道問題に対する明確な回答を要求する。

(3)1月中旬に開かれる自然公園審議会に働きかけるべく、世論を高めよう。

●「列島改造」に乗って再燃する全国の自然破壊問題の歯止めの意味を含め、残り少ない自然を守り、生活環境を守るために市民運動の原点に立つて運動を進めよう。

●12月1日、故平野長靖氏の一年祭が、吹雪の一ノ瀬の遭

難現場付近で行なわれました。あの時と同じように腰までの大雪の中を遺族や村の皆さん、そして本会からも個人として岸・太田・松田・土橋の四人が参列して、新たな涙と共に、尾瀬の自然を死守することを誓いました。

●シンポジウムに参加を1月20日(土)午後三〜五時新宿消費者センター集會室新宿駅東口前 新宿富士ビル四階 電話三五二一九三六一先着六十名。◎講師 川崎隆章氏(日本登山学校校長)尾瀬の自然保護の歴史 ◎木原啓吉氏(朝日新聞編集委員)自然破壊と公害 資料も用意していますのでふるつてご参加を。ふだん顔を見せられない方も集つて長期・短期の行動方針を煮つめましょう。

●尾瀬は緊迫してきました。会もこれから更に活動を強めなければなりません。会員の増加にさらにご協力下さい。

尾瀬の自然を守る会 東京都港区三田 1-11-45-108 太田 気付
TEL 03(451)3883 振替口座138023